

小説家 平野啓一郎さん 講演会

入場無料

※当日会場先着50人に
「文學界」4月号（第53回九州芸術祭
文学賞最優秀作掲載）を差し上げます。

日時

主催 | (公財)九州文化協会、宮崎県、福岡県、佐賀県、長崎県、
熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市
共催 | (公財)宮崎県芸術文化協会、西日本新聞社

テーマ

人生

小説からへ



©ogata_photo

2023年

3月12日(日)

12時30分開場 13時～表彰式、記念講演
16時終了予定(表彰式からご参加ください)

会場 ニューウェルシティ宮崎

宮崎市宮崎駅東1丁目2番地8

定員 100名 ※先着順、事前の申し込みが必要です。

申込方法

※締め切り 3月3日(金)必着(定員になり次第締め切り)
下記応募事項をWEB・FAX・お電話いずれかでお申し込みください。
①お名前(ふりがな) ②電話番号 ③同伴者の有無(3名まで可)を
記載してください。
FAXの場合は件名に、「九州芸術祭文学賞表彰式」と明記してください。

宮崎県総合政策部 みやざき文化振興課

申込先

●WEBでのお申込み



<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/QdeCS2Lm>

●FAXでのお申込み/0985-32-0111

●電話でのお申込み/0985-26-7099

←左記の二次元バーコードまたはURLから
お申し込みください。

ひらの けいいちろう 平野 啓一郎氏

●プロフィール

1975年、愛知県蒲郡市生まれ。2歳から高校卒業まで北九州市で暮らす。99年、京都大学在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』で芥川賞を受賞、鮮烈なデビューを飾る。主な作品に『葬送』『空白を満たしなさい』『マチネの終わりに』（渡辺淳一文学賞）、『ある男』（読売文学賞）などの小説のほか、『私とは何か「個人」から「分人」へ』『考える葦』『「カッコいい」とは何か』などのエッセイや評論がある。最新作は「自由死」（安楽死）が合法化された近未来の日本を舞台に、親子の愛情や心の在処を問う長編小説『本心』（西日本新聞などに連載）。宮崎県が舞台の『ある男』を原作とする映画が2022年秋に公開された。2020年から芥川賞の選考委員も務める。

【ご来場の皆様へお願い】

- 発熱や体調不良の場合は来場をお控えください。
- 会場にはマスクを着用してお越しください。
- 会場受付の検温で37.5度を超える発熱が見られた場合はご入場いただけません。
- 新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合等はご入場いただけません。
- ご入場時に、手指の消毒をお願いします。
- 会場内では大きな声を出したり、他の参加者に密接することがないようにご注意ください。
- 会場内の様子を写真や映像で記録し、今後の広報事業に使用させていただく場合があります。

芥川賞への近道

九州芸術祭文学賞に応募しませんか

第53回(令和4年度)

九州芸術祭文学賞 作品(小説)募集

■応募期間/令和4年5月1日～8月31日(必着)

■最優秀作/賞金30万円及び「青木秀賞」20万円

■佳作/賞金7万円

■地区優秀作/賞金5万円

■地区次席/賞金2万円

次の物語を綴るのはあなたです。

■応募資格/九州各県・沖縄県在住者 ■応募作品/小説(未発表の作品1編、同人誌を含め既発表作品は不可) ■応募条件/400字詰め原稿用紙55枚～60枚 ■原稿送り先/居住する県、政令指定都市の『九州芸術祭文学賞作品係』あて ■選考/①地区選考=九州各県、沖縄県、北九州市、福岡市、熊本市の計11地区で地区優秀作1編、次席1編を選ぶ。②最終選考=11地区の地区優秀作の中から最優秀作1編を選ぶ。最終選考委員は五木寛之氏、村田喜代子氏、又吉栄喜氏、『文学界』編集長。■入選作発表/地区次席=令和4年11月上旬、最優秀作=令和5年1月下旬、令和5年3月に文学賞贈呈式、最優秀作、地区優秀作は『第53回九州芸術祭文学賞作品集』(令和5年3月刊行予定)に掲載。

最優秀作品は『文学界』(文藝春秋社刊)4月号に掲載!

1970年に誕生した「九州芸術祭文学賞」(小説)は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、53回を数えます。

各地区選考(10月ごろ)、最終選考(翌年1月)の二段階で審査を行い、最優秀作は『文学界』(文藝春秋刊)に掲載されます。中央の文壇の目が届きにくい地方の文学賞では異例のことで、第27回最優秀作『水滴』(目取真俊)はそのまま芥川賞に輝きました。

このほか、村田喜代子、又吉栄喜、大道珠貴の各氏ら芥川賞作家たちも、本賞受賞を足がかりに文壇デビューを果たしました。

最終選考委員は現在、五木寛之、村田喜代子、小野正嗣(又吉栄喜から交代)、『文学界』編集長 丹羽健介の4氏。第54回の応募は2023年5月1日にスタートします。

九州芸術祭文学賞から巣立った 芥川賞作家たち

第7回最優秀作「水中の声」村田喜代子

1987年「鍋の中」で芥川賞

第8回最優秀作

「ジョージが射殺した猪」又吉栄喜

1996年「豚の報い」で芥川賞

第27回最優秀作「水滴」目取真俊

1997年、同作で芥川賞

第30回最優秀作「裸」大道珠貴

同作で芥川賞候補 2003年「しょっぱいドライブ」で芥川賞

最終選考者



五木 寛之氏



村田喜代子氏



小野 正嗣氏

【お問い合わせ先】公益財団法人九州文化協会/福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館内 ☎092-711-5586 (平日10時～16時)

詳しい応募要項はホームページ [九州芸術祭文学賞](#)